

六ヶ岳

福岡県 宮若市・鞍手郡 2026年 2月20日

低山だが急勾配の続く悔れない山



六ヶ岳(朝日岳)山頂広場にはベンチとテレビ中継局の鉄塔

本日のコース <全行程 4時間45分>

宮田登山口 9:42 → 六ヶ岳の説明板 10:01 → 六ヶ岳への分岐 10:05 →
宮辻 10:32 → 六ヶ岳(朝日岳)山頂 10:55 → 高祖の峰 12:50 →
出穂の峰 13:10<昼食>13:37 → 六ヶ岳への分岐 14:11 → 宮田登山口 14:27

2年半ぶりに六ヶ岳にやって来た。前回は8月の酷暑の中だったが、今回は冬。登山口も前回の鞍手登山口の反対側に位置する宮田登山口に変更した。やはり冬季は歩き易い。頑張って歩こうと意気込んだが、急勾配の六ヶ岳の洗礼を受けて登頂は三座のみ。山頂では単独行で登ってこられた地元の方と暫く談笑。楽しい時間を過ごした。



宮田登山口 9:42 5~6台の駐車スペース
ここから舗装道路を上って行く



古びたコンクリート造の建物だが、これはいったい何なのだろう？ 9:48



駐車スペースが現れた。その先に池がある。 9:59



六ヶ岳の説明板 10:01 池を通り過ぎると六ヶ岳の説明板が立っている。



上の絵は、資料出典:筑前国續風土記付録「老松神社図」(江戸時代)
福岡県立図書館 所蔵

標高339m。直鞍(ちよくあん)地域のほぼ中央に位置し、宗像三女神降臨の靈峰として伝えられています。「朝日(あさひ)、天冠(てんかん)、羽衣(はごろも)、高祖(こうそ)、出穂(でほ)、崎門(さきと)」の六峰からなることで名付けられました。山頂からの眺めは素晴らしく、360度の景観を楽しむことができます。支峰の龍ヶ岳には戦国時代の龍ヶ岳城跡があり、かつての繁栄の様子がうかがえます。

○登山時間:60分

この説明板のすぐ先に六ヶ岳への分岐があった。



六ヶ岳への分岐 10:05



赤い矢印に沿って左へ進む



10分程歩くと本格的な登山道に変わった 10:17



山頂までの距離を示す青い看板が現れた 10:31 あと330m



分岐のようだ 10:31



宮辻 10:32 木の根元に古びた道標が置いてある
この道標によれば、この分岐の名は宮辻(みやつむじ)と呼ばれているらしい。
我々は旭岳の方へ進む(山頂に立つ山頂碑は朝日岳となっている)



あと200m 10:40 ロープ場が続く



宮辻の分岐から急登を上ること20分、漸く山頂だ！ 10:52



六ヶ岳最高峰の朝日岳山頂碑 339m



六ヶ岳(朝日岳)山頂 10:55 快晴で言うこと無し！
山頂で別ルートからの登山者と会話が弾み、50分程のんびりしてしまった。
今日はこれからあと2座を目指す！



高祖ノ峰へGO！



高祖(こうそ)の峰 12:50 260m



高祖の峰からの眺望
狭い山頂からは一方向のみ下界が見える

次は出穂の峰を目指す！



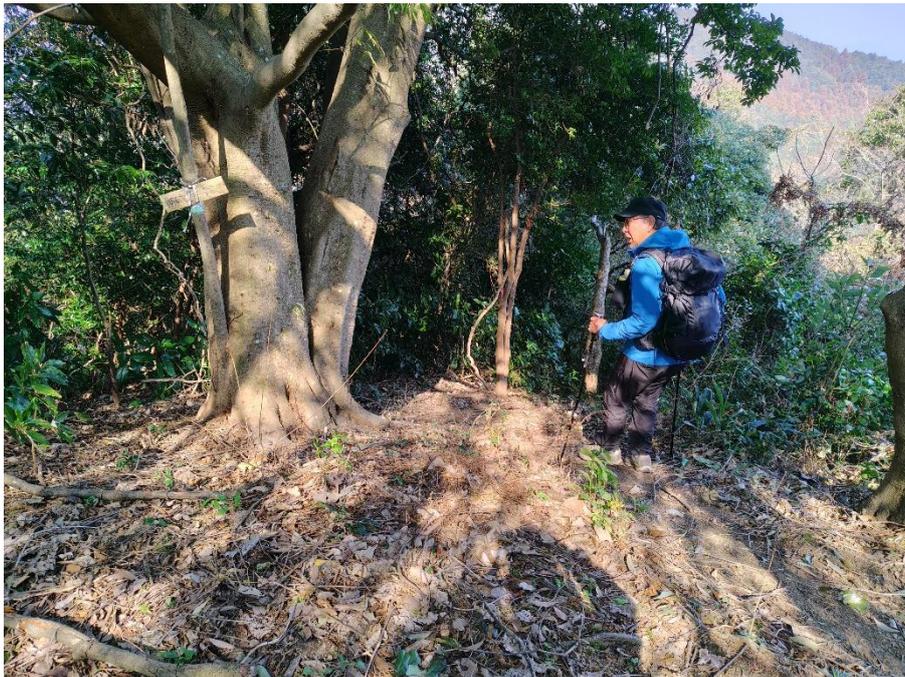
出穂(でほ)の峰 13:10 293m ここで昼食休憩



出穂の峰山頂碑



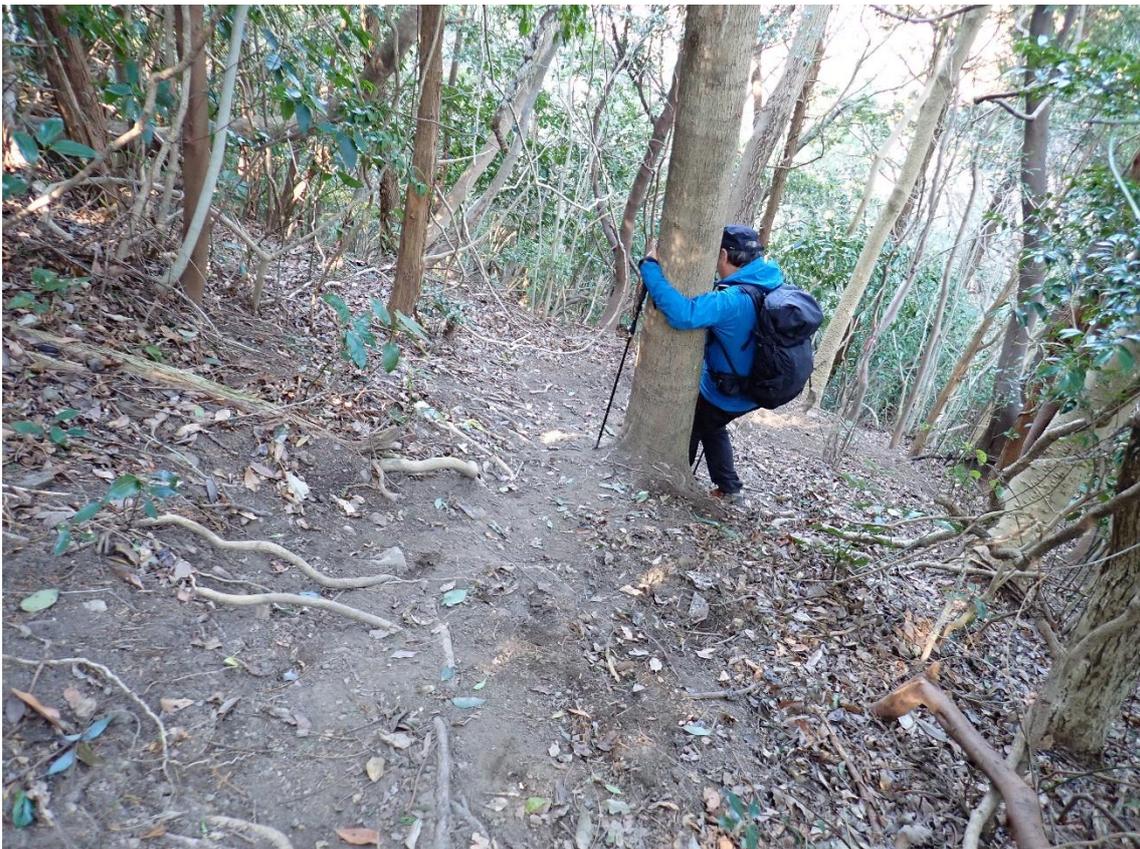
出穂の峰山頂からは先ほど登頂した六ヶ岳(朝日岳)が見える



お腹も満たして下山にとりかかる 13:37



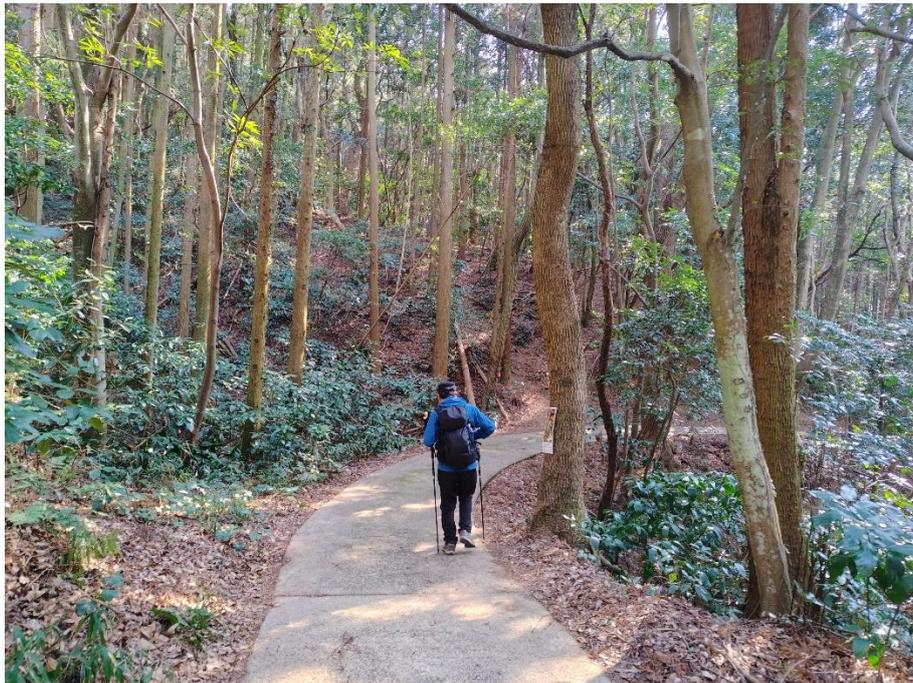
山頂からのルートは急勾配なので慎重に下山 13:39



ズルズル滑って危ない、危ない 13:40



六ヶ岳への分岐 14:11 出穂の峰から34分で辿り着いた



ホッとしてここからは車までクールダウン 14:12



宮田登山口 14:27 ゴール

4時間45分の山歩きが終了
スマホの歩数計は10825歩
T師匠お世話になりました
お疲れ様でした。

